

青山学院大学大学院

年度	2026
研究科	教育人間科学
専攻	心理学（心理学コース）
課程	博士前期
入試種別	社会人入試
試験科目	専門 A
科目詳細	心理学の研究に関する論述
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ 解答のポイント ・ 略解

設問（1）出題意図

本設問において、解答用紙5行分（約200～250字程度）の限られた字数の中で、研究の構造および要点を簡潔にまとめ、伝える力を評価するものである。心理学研究においては、研究目的・研究対象・研究方法の3点を明確に示すことが、研究の妥当性（臨床的妥当性を含む）を担保する基盤となる。本設問では、受験者自らが実施した研究のまとめ（卒業研究など）か、あるいはこれから取り組む修士論文の研究計画の内容について、研究デザインの基本構造を理解しているかを確認するとともに、字数の制約を設けているのには情報の取捨選択や論理的整理の能力を測る意図を含む。研究の核となる問いを明確にし、それに整合的に対応する内容を端的にまとめることは、研究遂行能力だけではなく、学術的文章作成の基礎力を総合的に問うものである。

設問（2）

本設問は、受験者が自身の研究テーマを理論的背景と先行研究の流れの中に適切に位置づけ、その研究がどのような学術的・実践的価値を持つのかを論理的に説明できるかを評価することを目的としている。心理学研究として、自身の研究がどの理論枠組みに基づき、どのような先行研究を踏まえて論じられているのかを明確にすることが、妥当性・新規性・独自性、そして研究の社会的意義を示すことになる。また、研究倫理の理解については、研究者と対象との関係性を的確に捉えることから始まり、特に人を対象とする研究の場合での研究参加者の権利保護、説明責任、データ管理の適切さ確保といった、心理学を学ぶ者に不可欠な基本的態度を問う。研究遂行上、懸念されるリスクや負担についてどのように予測し、対応する姿勢と技術があるかも含めて総合的に判断する。

解答では、まず主要理論を簡潔に示し、次に代表的な先行研究の知見と未解明の課題を整理する。そのうえで、自身の研究がどのような新たな視点を提供するのかを述べて、研究の意義を明確に主張できると良い。倫理的配慮を含めた理論から研究遂行までを具体的に示し、一貫した構成で説明することが求められる。